

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	3年生		
教科等名	保健体育		グループ名	全		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の基本的な運動技能を身に付けるとともに、健康安全についての知識を身に付ける。 ・各種目のルールやきまりを理解し仲間とともに運動することができる。 ・生涯にわたり主体的に運動に取り組むことができる態度を養う。 					
担当教員	○甲斐 琢也 中村 妙 正司 一貴 高田 京子 萩野 美咲 白井 雅 片田 啓 高島 恵理					
年間授業時数	普通学級:66 重度・重複学級:99					
使用教科書						
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	・体づくり運動	学年 通年 重重 33	○	・体ほぐしの運動 ・体づくり運動	・心と体をほぐしたり、体の動きを高めたりすることができる。	・ICT機器を使用し視覚情報を取り入れる。
4 5 6	・オリエンテーション ・体づくり運動 ・陸上競技 ・体力測定 ・心身の健康	16	○	・オリエンテーション ・サーキットトレーニング ・短距離走、リレー ・シャトルラン、握力測定、反復横跳び、ハンドボールボール投げ など ・適切な生活習慣について	・担当教員や活動内容、場所など1年間の流れを知り、見通しをもつ。 ・基本的な動きを身に付ける。 ・きまりを守り、仲間と協力しながら運動をすることができる。 ・自己の運動技能や運動能力を知ることができる。 ・適切な生活習慣を身に付ける。	・コーン、ライン等で活動範囲を明確にする。 ・教員による模範、目印等を活用する。 ・必要に応じて身体支援を行う。 ・ICT機器を使用し視覚情報を取り入れる。
6 7 9	・水泳 ・傷害の防止	12	○	・水難訓練 ・水中運動 ・泳法 ・けがの予防、安全について	・安全に入退水することができる。 ・全身運動することができる。 ・初歩的な泳ぎ、泳法の基礎となる動き、泳法を段階的に身につける。 ・安全に注意して運動をすることができる。	・水難訓練の際に教員によるロールプレイを行う。 ・グループ別の時間を設け、課題に応じた細やかな練習を行う。 ・ICT機器を使用し、視覚情報を多く取り入れる。
9 10 11	・球技 ・心身の機能	17	○	・バスケットボール ・ポッチャ ・ペガボール ・ストレスへの対処について	・バスケットボールの楽しさを味わうとともに、簡易化されたゲームを行う中でルールを身に付ける。 ・ストレスの対処法が分かる。	・実態に応じた用具を使用し、簡易ゲームを中心に行う。 ・ICT機器を使用し、視覚情報を多く取り入れる。
12 1	・器械運動 ・健康・安全	10	○	・柔軟運動、平均台を用いた運動 ・交通事故、自然災害について	・身体の柔軟性、バランス感覚、体幹保持力を高め、基本的なバランス技を身に付ける。 ・交通事故、自然災害などへの備えと対応が分かる。	・身近なものを利用して、楽しく体を動かすようにする。 ・ICT機器を使用し、視覚情報を多く取り入れる。
2 3	・武道 ・ダンス ・ガンについて	11	○	・武道各種 ・現代的なリズムのダンス 又は、創作ダンス ・健康の考え方(がん教育を含む)	・礼儀作法の特徴を理解し、基礎的な動作を身付ける。 ・リズムに乗って踊ったり、基本的なステップや動きを身につけて踊ることができる。 ・自己の健康に関心をもち、がんへの理解を深めることができる。	・扱いやすいように、模擬教具を使用する。 ・動きやリズムを簡易化する。 ・ICT機器を使用し、視覚情報を多く取り入れる。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。